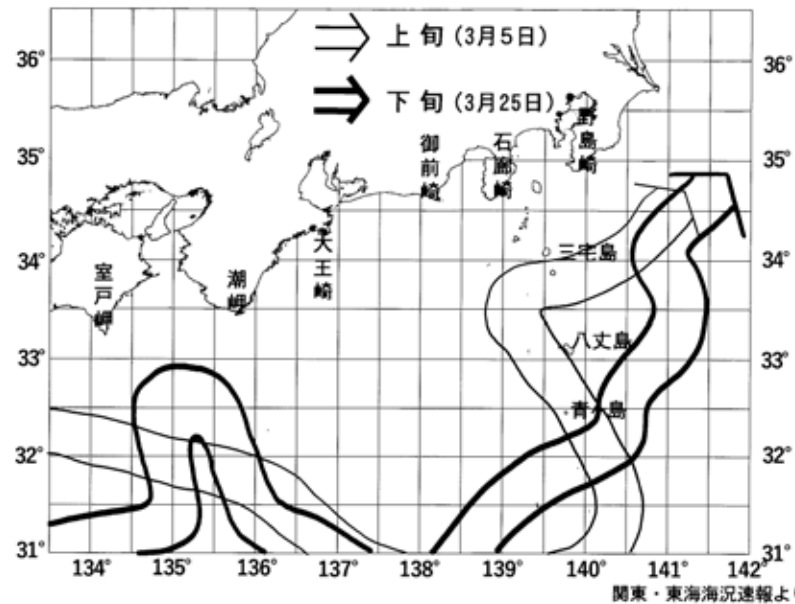


漁海況月報

令和3年3月1日

No. 3 ~3月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



3月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.3	15.7	15.5	16.3	15.9	15.0
	1.7	1.7	1.8	2.0	1.7	1.5
中旬	15.9	16.3	15.9	16.8	16.2	16.0
	2.1	2.0	1.9	2.1	1.4	2.1
下旬	16.2	16.6	16.2	16.5	16.9	16.7
	2.1	2.1	1.9	1.3	1.7	2.4
月	15.8	16.2	15.9	16.5	16.4	15.9
	2.0	2.0	1.9	1.7	1.6	2.0

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

潮岬 - 遠州灘を大きく離岸した後に野島崎沖付近で北上し、上旬は伊豆諸島の西側を、中旬は東側を通る流路となった。

上旬は潮岬 - 遠州灘を大きく離岸し、野島崎沖 31°N 付近から S 字状に北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

中旬は潮岬 - 遠州灘を大きく離岸し、石廊崎沖 31°N 付近から伊豆諸島の東側を北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島西・東水道に向けて暖水波及が見られた。

下旬は潮岬 - 遠州灘を大きく離岸し、遠州灘沖 31°N 付近から伊豆諸島の東側を北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

【県下沿岸域】

上旬は全地点で「高め」であった。中旬は沼津で「やや高め」、それ以外の地点で「高め」であった。下旬は雲見で「やや高め」、それ以外の地点で「高め」であった。

【竿釣カツオ】

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは32.5トンで前年同月(24.3トン)の1.3倍であった。魚価は271円/kgで前年同月(733円/kg)を下回った。

漁場は31-32°N、139-140°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、小(尾叉長46cm)を主体に、中(尾叉長50cm)、大(尾叉長60cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R3年3月上旬	0.1	1	0.1	600
中旬	12.4	6	2.1	261
下旬	20.0	5	4.0	276
R3年3月計	32.5	12	2.7	271
R2年3月計	24.3	14	1.7	733
R1年3月計	89.5	25	3.6	300

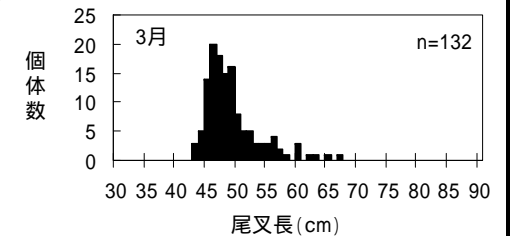


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は617.3トンで前年の同漁場の水揚げ量(205.2トン)の3.0倍であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、88.2トンで前年(29.3トン)の3.0倍、平年(53.0トン)の1.7倍であった。水揚げ量の多い漁場は、古網漁場(320.4トン、マイワシ、さば類、スルメイカ)、次いで川奈漁場(121.6トン、マイワシ、スルメイカ、サワラ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は以下(表)の通りで、マイワシは480.1トン、前年比5.2倍、平年比7.5倍で、3月の水揚げ量としては昭和57年以降、平成26年に次いで多かった。スルメイカは57.0トンで、前年比98%、平年比2.5倍であった。さば類は31.3トンで、前年比2.5倍、平年比95%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは18.0トンで、前年比3.3倍、平年比1.8倍、ゴマサバは13.3トンで、前年比1.9倍、平年比49%であった。サワラは10.8トンで、前年比5.1倍、平年比6.7倍であり、3月の水揚げ量としては昭和57年以降、最も多かった。ブリは6.8トン、前年比36%、平年比13%で、銘柄ぶり主体であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)の通りで、各漁場の水揚げ量の割合は、マイワシでは古網漁場が63%(300.3トン)、伊豆山漁場が20%(94.4トン)、川奈漁場が18%(85.1トン)、スルメイカでは北川漁場が27%(15.5トン)、川奈漁場が25%(14.2トン)、富戸漁場が24%(13.7トン)、さば類では伊豆山漁場が21%(6.7トン)、川奈漁場が21%(6.6トン)、古網漁場が21%(6.6トン)、谷津漁場が17%(5.3トン)、サワラでは川奈漁場が92%(9.9トン)、ブリでは川奈漁場が42%(2.9トン)、赤沢漁場が25%(1.7トン)、北川漁場が22%(1.5トン)を占めた。

*平年：昭和57年～令和2年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	480.1	5.16	7.54	古網、伊豆山、川奈
スルメイカ	57.0	0.98	2.45	北川、川奈、富戸
さば類	31.3	2.50	0.95	伊豆山、川奈、古網、谷津
サワラ	10.8	5.12	6.68	川奈
ブリ	6.8	0.36	0.13	川奈、赤沢、北川

[サバたもすくい網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業した。漁場は上旬は利島、銭洲、中旬及び下旬は銭洲に形成された。水揚量はマサバ778トン(前年同月比1.0倍)ゴマサバ571トン(前年同月比2.0倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ15.3トン(前年同月比75%)ゴマサバ11.2トン(前年同月比1.5倍)であった。

1kgあたり平均単価はマサバは79円で前月(96円)を大きく下回り、前年同月(81円)とほぼ同額であった。ゴマサバは82円で前月(111円)前年同月(128円)共に大きく下回った。水揚げされたマサバ及びゴマサバの体長組成は共に34cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R3年3月上旬	285	87	4	13	21.9	6.7	71	82	利島、銭洲
中旬	247	202	5	16	15.4	12.6	74	80	銭洲
下旬	247	282	7	22	11.2	12.8	94	84	銭洲
R3年3月計	778	571	16	51	15.3	11.2	79	82	利島、銭洲
R2年3月計	749	282	11	37	20.2	7.6	81	128	銭洲
H31年3月計	706	208	9	30	23.5	6.9	110	117	銭洲

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

令和3年の春漁は3月30日が初漁日であった。3月の出漁日数は2日、水揚量は5.7トンであった(前年同月には出漁なし)。主漁場は三保沖、焼津沖であった。漁獲されたサクラエビの体長組成をみると34~35mm付近にモードがあった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	漁 場
R3年3月上旬	-	-	-
3月中旬	-	-	-
3月下旬	5.7	2	三保沖、焼津沖
R3年3月計	5.7	2	-
R2年3月計	-	-	-
H31年3月計	10.3	2	用宗沖~焼津沖、相良沖
H30年3月計	-	-	-

* - : 出漁なし

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が74kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が666kgであった。平均水揚量は511kgと前年同期(607kg)の84.2%、平年同期(過去5か年平均:479kg)の1.1倍であった。また、総水揚量は377.9トンで前年同期(430.0トン)の87.9%、平年同期(321.8トン)の1.2倍と、前年同期を下回り、平年同期を上回った。平均単価は584円/kgと、前年同期(485円/kg)の1.2倍、平年同期(673円/kg)の86.8%と、前年同期を上回り、平年同期を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	50.9	6	82	621	508
舞 阪	174.6	6	238	734	549
福 田	98.1	6	160	613	521
御前崎	39.9	6	66	605	763
吉 田	8.4	4	103	82	1,031
静 岡	5.9	5	90	66	1,446
R3年3月計	377.9	33	739	511	584
R2年3月計	430.0	30	708	607	485
H31年3月計	304.1	25	493	617	465

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成28~令和2年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では2,337.6トン(前年同月比1.1倍、平年同月比2.5倍)小川港では602.8トン(前年同月比1.2倍、平年同月比1.5倍)伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、静浦港では0.1トン(前年同月比3.3%、平年同月は昨年を除き水揚げ無し)沼津港では40.6トン(前年同月比90.9%、平年同月比4.4倍)小川港では3.8トン(前年同月比5.4倍、平年同月比1.0倍)伊東港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは480.1トン、カタクチイワシは5.4トンであった。

*平年:過去5か年(平成28~令和2年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

3月 1日	地先定線観測調査	(1日間)
3月 3日 ~ 3月 4日	地先定線観測調査	(2日間)
3月 5日	ドックへ回航(三保造船所)	(1日間)
3月 26日	ドックから回航	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

